

まくせのやしろ
万九千社
たちむしじんじや
立虫神社

社報



神戸の郷

第五三号 平成二十八年夏

〔発行〕六月吉日 代宮家（錦田）

暑中お見舞い申し上げます。平素はお宮の護持、御奉仕にご尽力いただき誠にありがとうございます。おかげさまで、当社の御遷宮事業につきましましては、皆様格別の御理解と御協力を得まして、着実にその実を結びつつあります。

改めまして厚く御礼申し上げますとともに、平成三十年以降を目処に、立虫神社の社殿改築、境内整備を進めるべく、引き続きの御奉賛をよろしくお願い申し上げます。日々暑さ厳しくなりますが、皆様お健やかな日々を過ごして下さいませ。

宮司謹白

今季の祭

立虫神社

夏祭り

いよいよ夏本番。神社では恒例の夏祭りが賑やかに執り行われます。このお祭りは、稲をはじめと



する農作物が日照や風水害、虫害にあうことなく、恙なく秋の収穫を迎えることができること、人々が伝染病や暑さによる病氣や怪我にあうことなく健やかに日々元気で暮らせるように、そしてその力で諸産業が益々順調に発展するようにと、氏神さまにお祈りするお祭りです。夜店、神楽、カラオケなど、楽しい催し物もたくさんあります。皆様揃ってお参り下さい。

日時

七月二十四日

（日曜日 夕方より）

一、本殿祭

午後三時半より齋行

一、末社祭

午後五時より齋行

本殿祭、末社祭が、夏祭りの中心となる祭典です。

宮司以下の神職が、古式にのっとり、厳かに御奉仕します。御神前にお供え物をして、氏神様をおもてなしし、宮司が祝詞を奏上します。

本殿祭は、氏子を代表して、総代の皆様に昇殿してもらい、まごころ込めて玉串拝礼していただきます。

末社祭は、境内を取り囲む本社ゆかりの四社を時計回りにそれぞれお祭りします。

末社当番の皆様は、五時から祭典できますように準備方をお願いします。あわせまして、各社のお護り方、氏子さんへの御神酒授与など、どうぞ心うららかに、一夜のおもてなしをよろしくお願いします。

一、大祓

この日は、一ヶ月遅れの夏越しの大祓（本来は六月三十日）も行います。

人形（ひとがた）に、半年のツミやケガレをうつしやり、神前に大祓詞を奏上して、それらを祓い去ります。

夏以降の無病息災、防魔鎮魂を祈念するものです。

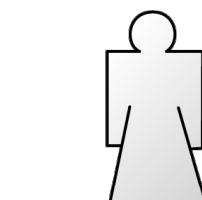
※人形は、事前に各家庭にお配りします。この紙で、身体を撫で

こすり、息を吹きかけたう

え、氏名、年齢、性別を書

いて、拝殿の箱にお納め下

さい。のちにお炊き上げし



催し物

午後六時より

千親会神和会協賛

一、小学生の合唱合奏

カラオケ奉納

小学生の氏子さんたちが元気よく奉納します。

二、出雲神代神楽奉納

当社の神楽社中が、厳かに時に勇壯

に舞い奏でます。

三、余興

恒例になりました。今年はそのような催しがありますやら。お楽しみに。

四、大文字

子供たちによる絵や習字の奉納展示です。子供さんやお孫さんの可愛らしい作品に神様も目を細めていらしやることでしょう。

